

# 資料編

1. 策定経過
2. 策定体制
3. 町民等の意向の把握
4. 「上三川町人口ビジョン  
(改定版)」の概要
5. 成果指標一覧

# 1.策定経過

## ■策定経過（令和元年度）

年	月	策定経過	内容
令和元年度	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状の分析・整理</li> <li>●町民等の意向の把握</li> <li>●将来フレームの検討</li> <li>●人口ビジョン・総合戦略の検討</li> </ul>	○第1回トップヒアリング [7/10] ：これまでの取組みの振り返り、今後のまちづくりの方向性等について
	8月		○町民アンケート調査の実施 [8/1～8/23]
	9月		○町内ワークショップの実施 [8月～9月] （上三川町若手職員・町内事業者・子育て世帯）
	10月		○まち・ひと・しごと創生プロジェクトチーム会議 [10/28] ：第1期戦略の取組みの効果から強化すべき取組み等の検討、第2期戦略に位置づける取組み等の検討、国基本方針に基づく新たな視点から第2期戦略に位置づける取組み等の検討
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口ビジョン・総合戦略の策定</li> <li>●前期基本計画の評価・検証</li> </ul>	○中学生アンケート調査の実施 ○高校生アンケート調査の実施 ○第1回まち・ひと・しごと創生本部会議 [11/21] ：人口ビジョン（素案）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について ○第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会 [11/29] ：人口ビジョン（素案）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について
	12月		○各種団体アンケート調査の実施 ○第2回まち・ひと・しごと創生本部会議 [12/18]
	1月		○第3回まち・ひと・しごと創生本部会議 [1/21] ：人口ビジョン（改定案）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について ○第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会 [1/29] ：人口ビジョン（改定案）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
	2月		○パブリックコメントの実施 [2/5～3/5] ：人口ビジョン（改定案）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
3月	○前期基本計画の評価、検証等 [3月上旬～3月下旬] ：各課による“施策項目・単位施策のチェックシート”（前期基本計画の振り返り）の作成 ○第4回まち・ひと・しごと創生本部会議 [3/19] ○第3回まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会 [3/24] ：人口ビジョン（改定版）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について ○人口ビジョン（改定版）及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定 [3/26]		

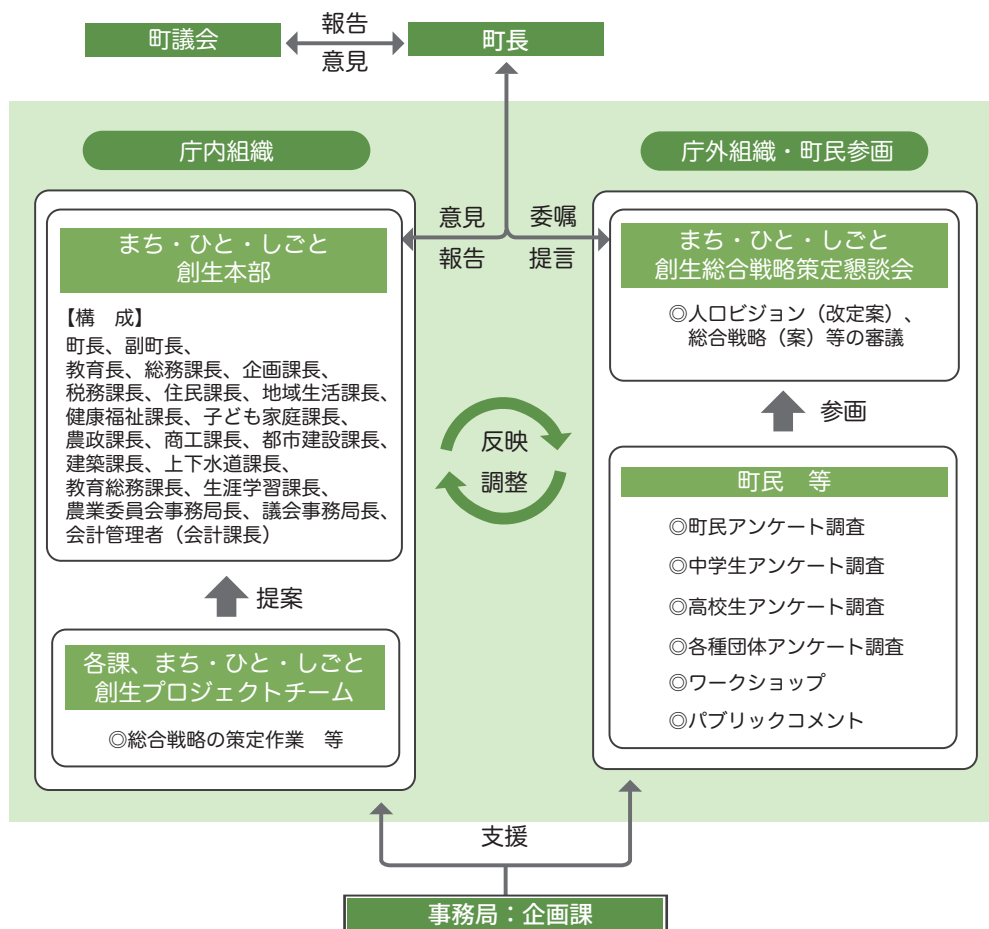
## ■策定経過（令和2年度）

年	月	策定経過	内容
令和2年度	4月	●後期基本計画の検討 ●施策体系、重点項目、 施策項目、単位施策、 成果指標等の設定	○前期基本計画の評価・検証等 [4月上旬～4月下旬]
	5月		○庁内各課ヒアリングの実施 [5月上旬～5月下旬] ：各課への“施策項目・単位施策のチェックシート”に関する内容の確認
	6月		○ワークショップ（職員みらいシナリオ会議）の実施 ：4グループによる5年後の取組み等に関する協議
	7月		○後期基本計画内容の検討 [6月下旬～7月上旬] ：各課による“施策項目・単位施策に関する後期計画シート”の作成
			○第2回トップヒアリング [7/8] ：新たな動きへの対応、重点項目等について
			○総合計画策定部会 [7/21] ：4グループによる重点項目設定に関する協議
	8月		
	9月		○後期基本計画（素案）内容の検討及び各課調整 [8月～10月]
	10月		
	11月	●後期基本計画の策定	○第1回総合計画策定委員会 [11/18] ：後期基本計画（素案）について
	12月		○第1回総合計画策定懇談会 [12/2] ：後期基本計画（素案）について
			○第2回総合計画策定委員会 [12/15] ：後期基本計画（案）について
			○第2回総合計画策定懇談会 [12/22] ：後期基本計画（案）について
1月	○パブリックコメントの実施 [12/25～1/25] ：後期基本計画（案）について		
2月			○上三川町第7次総合計画後期基本計画として決定
3月		○上三川町第7次総合計画後期基本計画書及び概要版の作成	

※「上三川町第7次総合計画後期基本計画」は「上三川町人口ビジョン改定版」及び「上三川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」と併せ令和元（2019）年度から令和2（2020）年度の2年間で策定しています。

## 2.策定体制

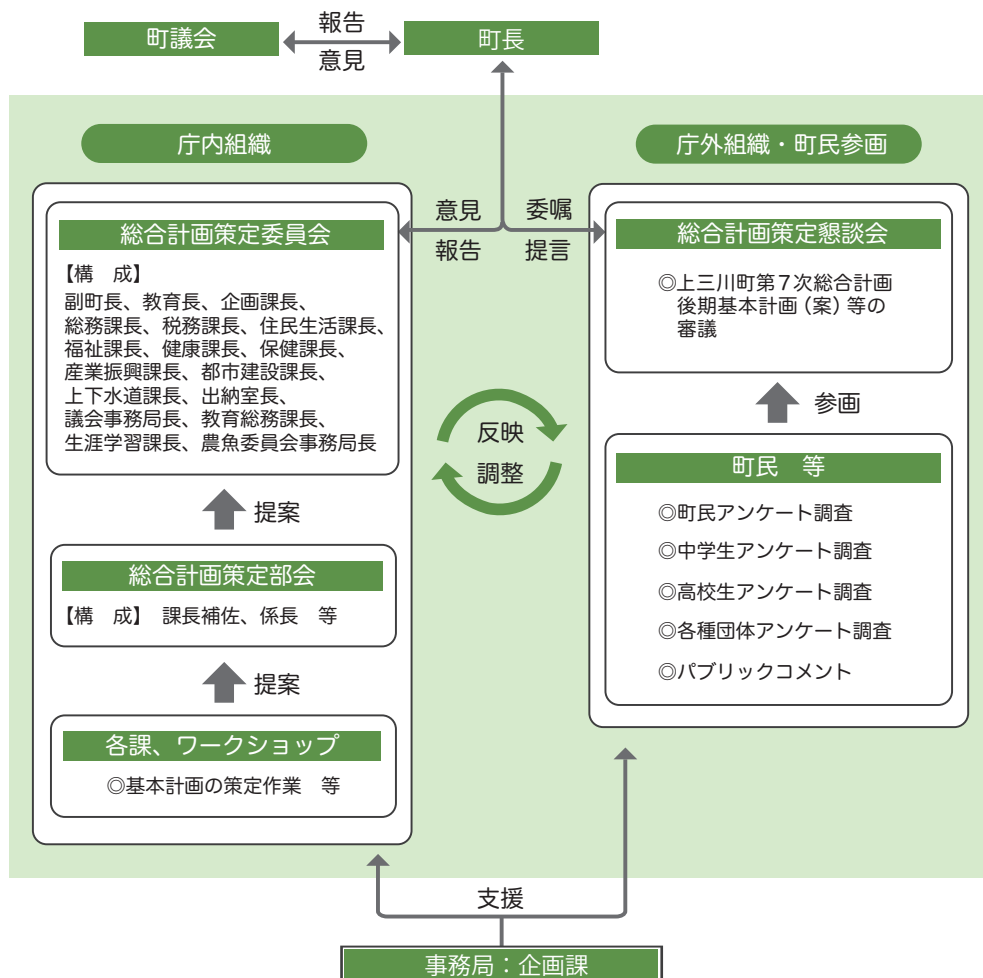
■上三川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定体制図（令和元年度）



■上三川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会委員名簿（令和元年度）

番号	氏名	役職	備考
1	田村 稔	町議会議員（議会議長）令和元年12月まで	副会長
	石崎 幸寛	町議会議員（議会議長）令和2年1月から	
2	高橋 正昭	町議会議員（総務文教常任委員長）令和元年12月まで	
	稲川 洋	町議会議員（総務文教常任委員長）令和2年1月から	
3	津野田 重一	町議会議員（産業厚生常任委員長）令和元年12月まで	
	稲見 敏夫	町議会議員（産業厚生常任委員長）令和2年1月から	
4	野沢 美範	学識経験者（元副町長）	
5	隅内 和男	学識経験者（元学校長）	
6	中村 祐司	学識経験者（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）	会長
7	北山 正一	自治会代表者（自治会長連絡協議会副会長）	
8	宮崎 哲	各種団体代表者（商工会会長）	
9	野澤 祐治	各種団体代表者（営農経済センター長）	
10	保坂 なを子	各種団体代表者（女性団体連絡協議会代表者）	
11	秋元 憲一	金融機関代表者（栃木銀行上三川支店長）	
12	和久 靖	金融機関代表者（足利銀行上三川支店長）	
13	関 セツ子	公募による委員	
14	石戸 照子	公募による委員	
15	谷中 久志	公募による委員	

### ■上三川町第7次総合計画後期基本計画策定体制図（令和2年度）



### ■上三川町総合計画策定懇談会委員名簿（令和2年度）

番号	氏名	役職	備考
1	石崎 幸寛	町議会議員（議会議長）	副会長
2	稲川 洋	町議会議員（総務文教常任委員長）	
3	稲見 敏夫	町議会議員（産業厚生常任委員長）	
4	隅内 和男	学識経験者（元学校長）	
5	中村 祐司	学識経験者（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）	会長
6	野沢 美範	各種団体代表者（社会福祉協議会会長）	
7	北山 正一	各種団体代表者（自治会長連絡協議会副会長）	
8	宮崎 哲	各種団体代表者（商工会会長）	
9	野澤 祐治	各種団体代表者（JAうつのみや上三川営農経済センター長）	
10	保坂 なを子	各種団体代表者（女性団体連絡協議会代表者）	
11	秋元 憲一	各種団体代表者（栃木銀行上三川支店長）	
12	石川 規久夫	各種団体代表者（足利銀行上三川支店長）	
13	関 セツ子	公募による委員	
14	石戸 照子	公募による委員	
15	谷中 久志	公募による委員	

### 3.町民等の意向の把握

#### 1) 町民アンケート調査

##### ■調査方法

調査対象 上三川町内に居住する15歳以上の男女

調査方法 ①調査票への回答記入後に郵送

②電子調査票への回答入力後に送信（IPアドレス・QRコードを設定し  
パソコン・スマートフォンによる個人での調査票の読み込み・入力等を依頼）

調査時期 令和1年8月

配布数 2,000件

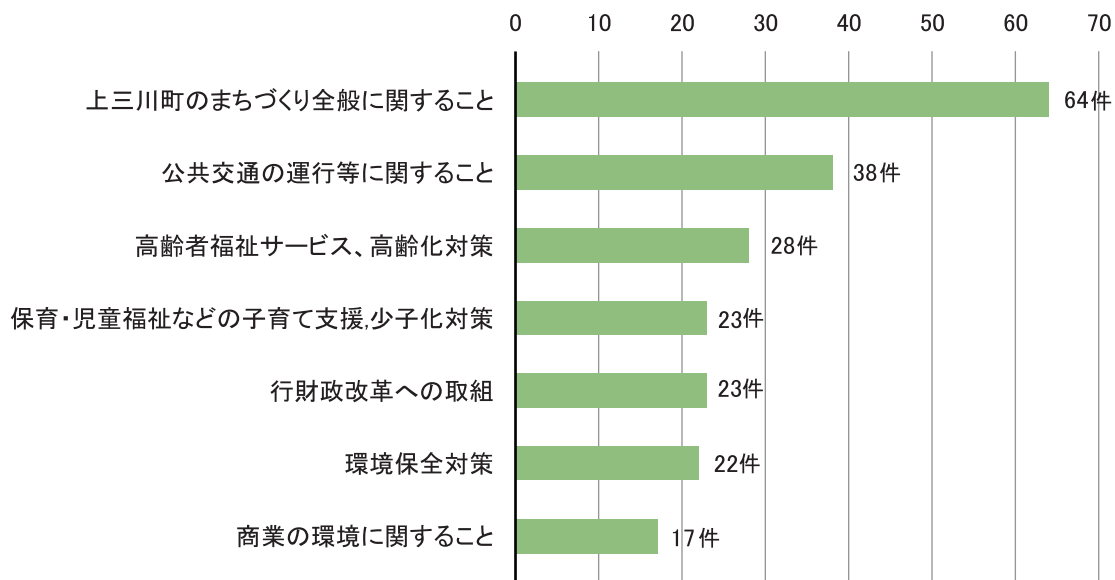
回収数 ①調査票への回答 703件

②電子調査票への回答 152件 ①と②の合計 855件

回収率 42.8%

[30年後の上三川町のために、現在の町民の方達にお願いしたいこと]

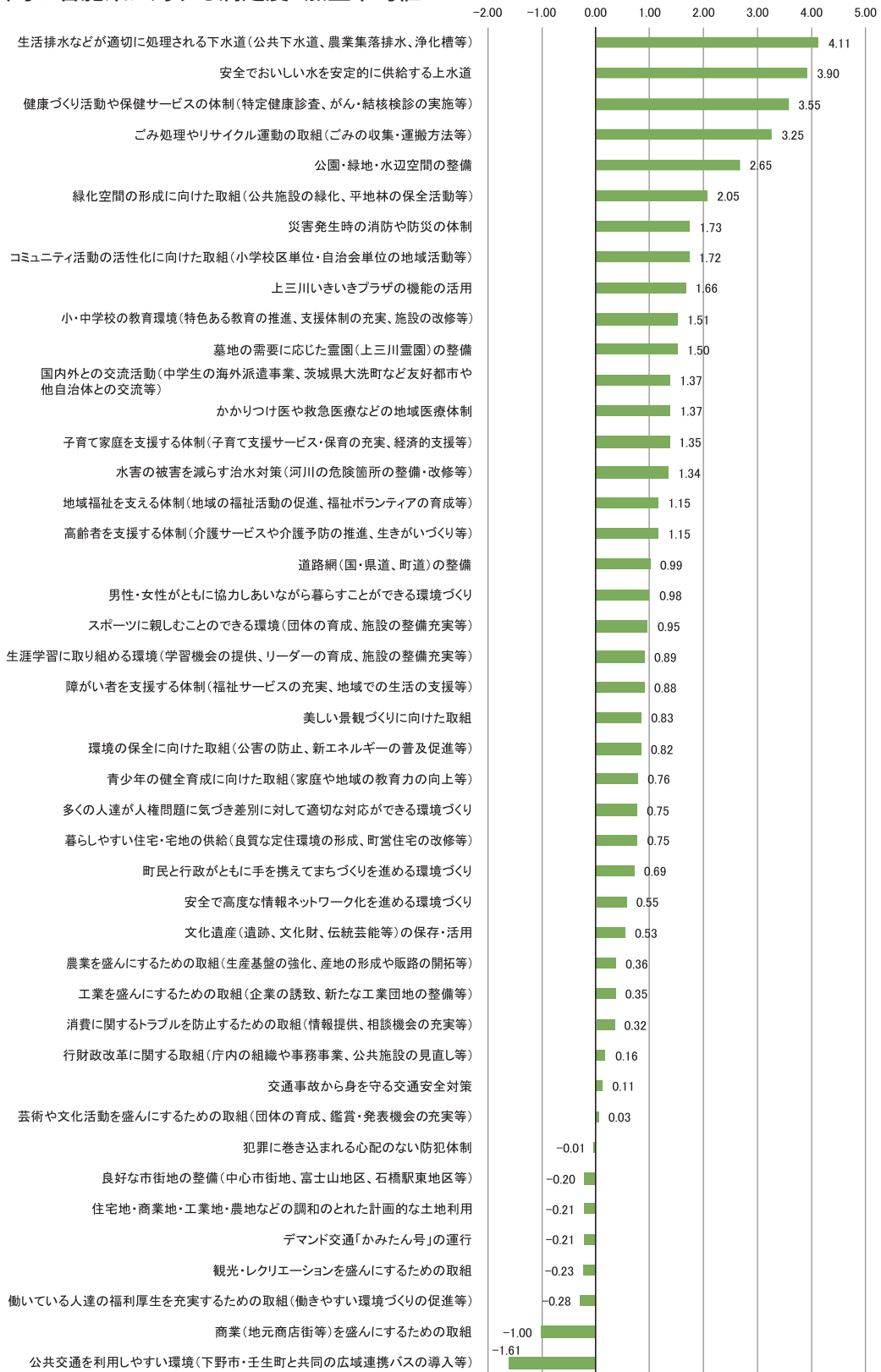
○“上三川町のまちづくり全般に関すること”のほか、“公共交通の運行等に関すること”“高齢者福祉サービス、高齢化対策”などに期待



[上三川町の各施策に対する満足度・重要度]

- 満足度の高いのは“生活排水などが適切に処理される下水道”“安全でおいしい水を安定的に供給する上水道”“健康づくり活動や保健サービスの体制”などの施策
- 満足度の低いのは“公共交通を利用しやすい環境”“商業を盛んにするための取組み”などの施策
- 重要度の高いのは“災害発生時の消防や防災の体制”“安全でおいしい水を安定的に供給する上水道”“生活排水などが適切に処理される下水道”“犯罪に巻き込まれる心配のない防犯体制”などの施策

## 一上三川町の各施策に対する満足度：加重平均値一

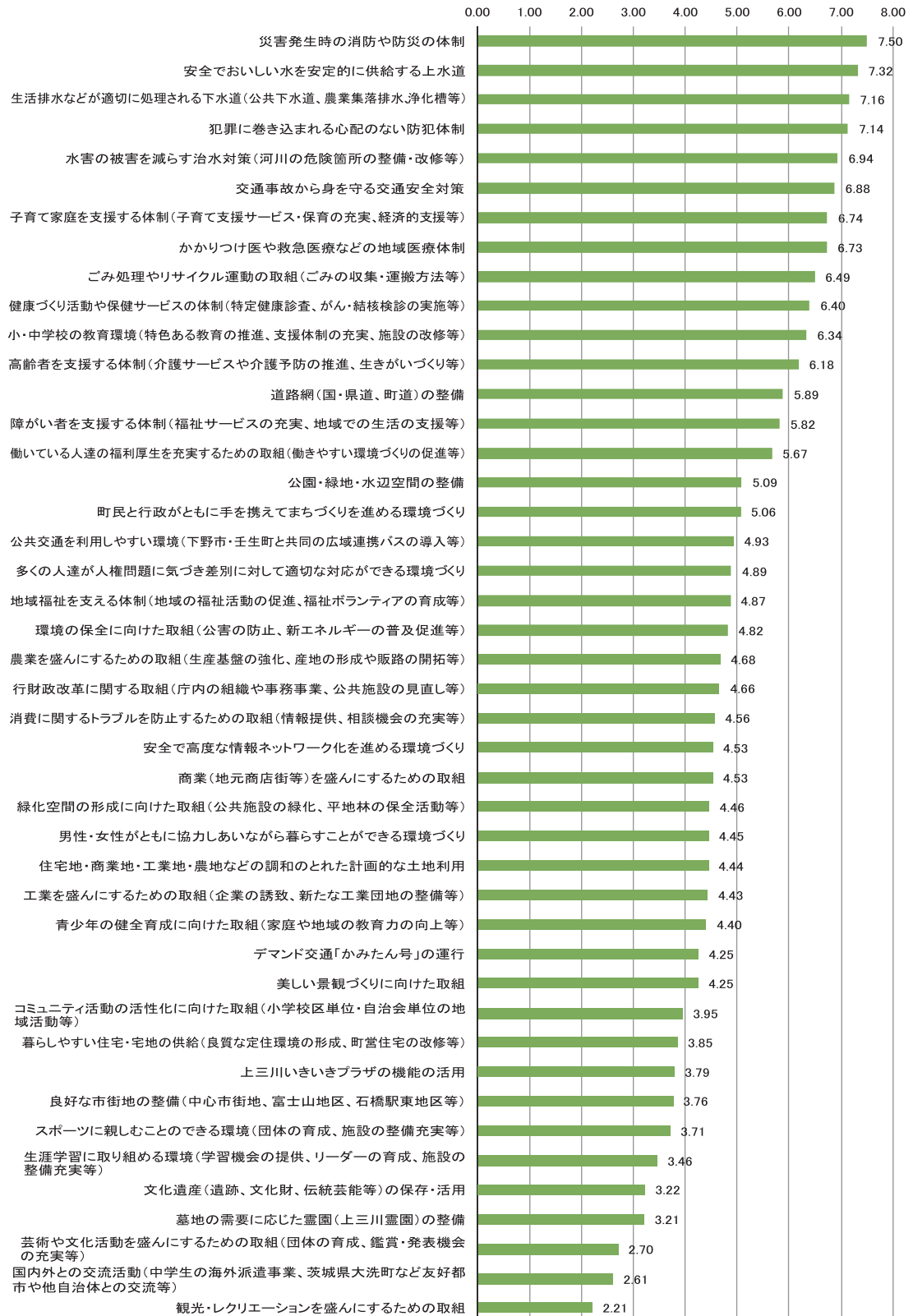


※加重平均値：5段階の評価にそれぞれ点数を与えて評価点(満足度)を算出

$$\begin{array}{l}
 \text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者} \times 10 \text{点} \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者} \times 5 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者} \times 0 \text{点} \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者} \times -5 \text{点} \\ \text{「不満である」の回答者} \times -10 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」} \\ \text{「どちらかといえば満足している」} \\ \text{「どちらともいえない」} \\ \text{「どちらかといえば不満である」} \\ \text{「不満である」の回答者数} \end{array}}
 \end{array}$$



—上三川町の各施策に対する重要度：加重平均値—



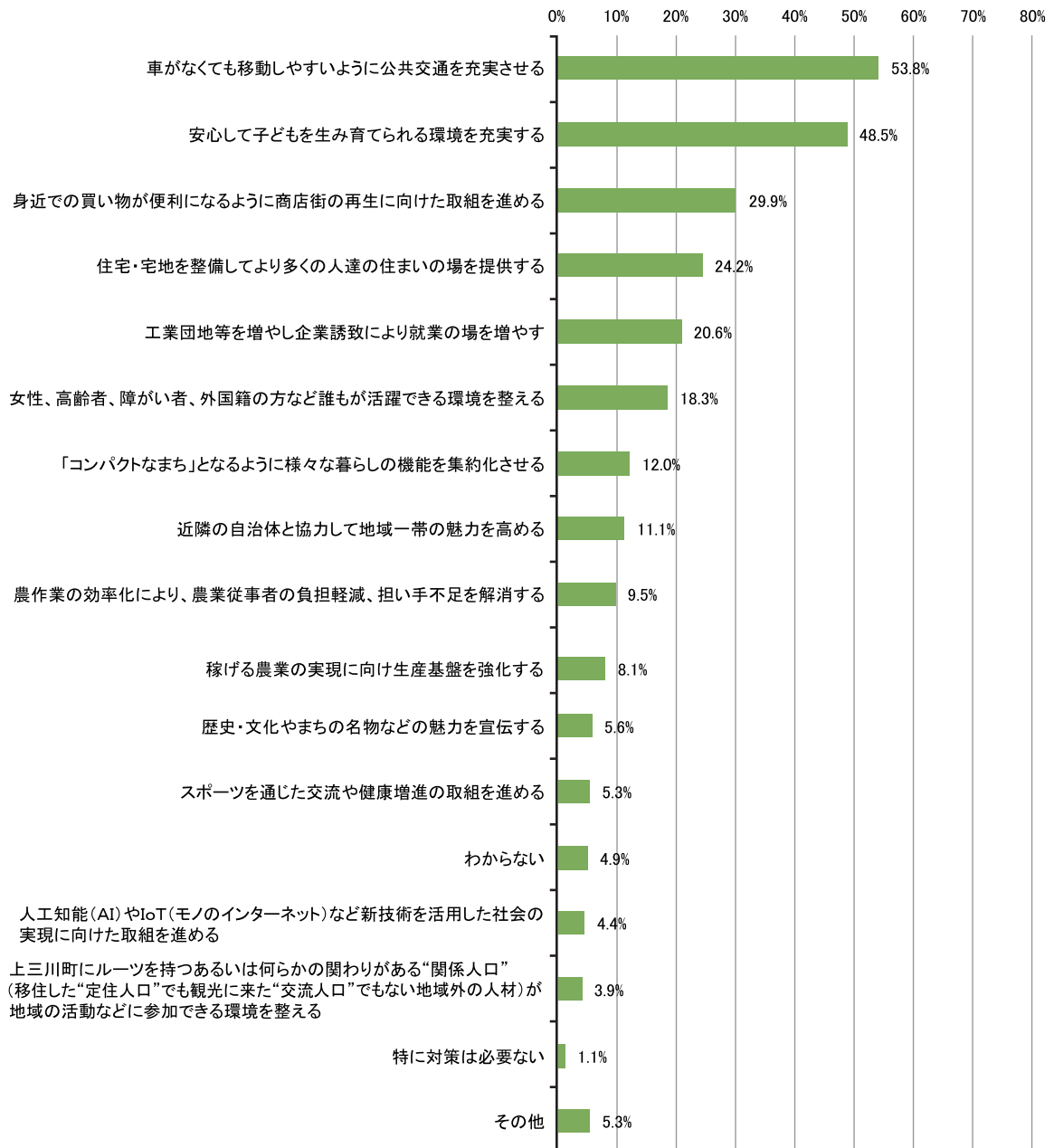
※加重平均値：5段階の評価にそれぞれ点数を与えて評価点(重要度)を算出

$$\begin{aligned}
 \text{評価点} &= \frac{\begin{aligned} &\text{「重要である」の回答者} \times 10 \text{点} \\ &\text{「どちらかといえば重要である」の回答者} \times 5 \text{点} \\ &\text{「どちらともいえない」の回答者} \times 0 \text{点} \\ &\text{「どちらかといえば重要ではない」の回答者} \times -5 \text{点} \\ &\text{「重要ではない」の回答者} \times -10 \text{点} \end{aligned}}{\begin{aligned} &\text{「重要である」、} \\ &\text{「どちらかといえば重要である」、} \\ &\text{「どちらともいえない」、} \\ &\text{「どちらかといえば重要ではない」、} \\ &\text{「重要ではない」の回答者数} \end{aligned}}
 \end{aligned}$$



[人口減少の動きへの対応について]

○“車がなくても移動しやすいように公共交通を充実させる”“安心して子どもを生み育てられる環境を充実する”“身近での買い物が便利になるように商店街の再生に向けた取組を進める”などの対応に期待



(集計回答者数=819)

## 2) 中学生アンケート調査

### ■調査方法

調査対象 町内の3つの中学校（上三川中学校・本郷中学校・明治中学校）に通学する  
中学3年生の男女全員

調査方法 アンケートシートの配付・記入依頼により実施

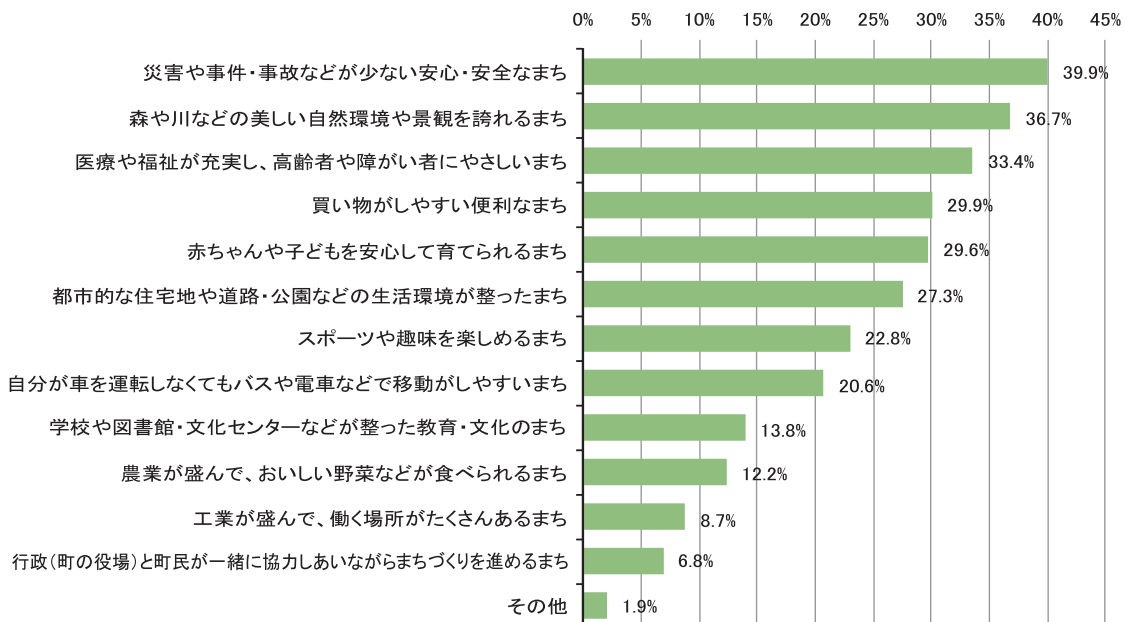
調査時期 令和1年11月

回収数 318件（3つの中学校の合計）

### ■結果の概要

#### [上三川町の目指すべき姿]

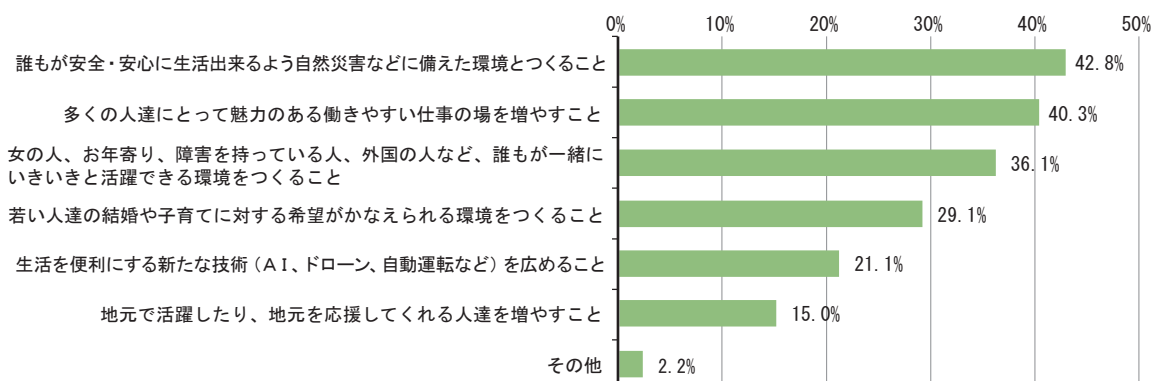
○“災害や事件・事故などが少ない安心・安全なまち” “美しい自然環境や景観を誇れるまち”  
“高齢者や障がい者にやさしいまち”を目指すことに期待



(集計回答者数=311)

#### [上三川町が住み続けたい環境となるために積極的に実施すべき取組み]

○“誰もが安全・安心に生活出来るよう自然災害などに備えた環境をつくること” “多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事の間を増やすこと”に関する取組みに期待



(集計回答者数=313)

## 3) 高校生アンケート調査

## ■調査方法

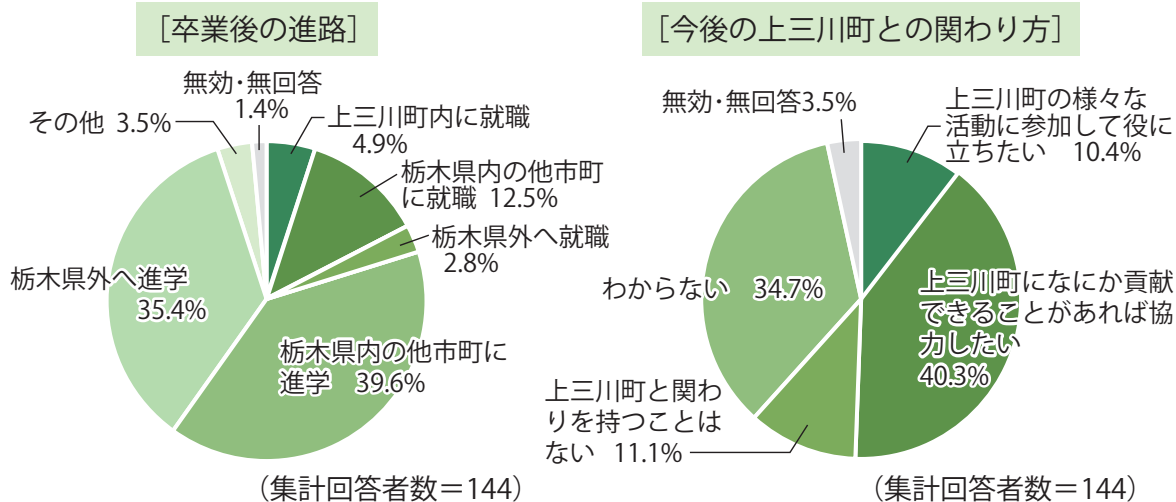
調査対象 県立上三川高校に通学する高校3年生の男女全員

調査方法 アンケートシートの配付・記入依頼により実施

調査時期 令和1年11月

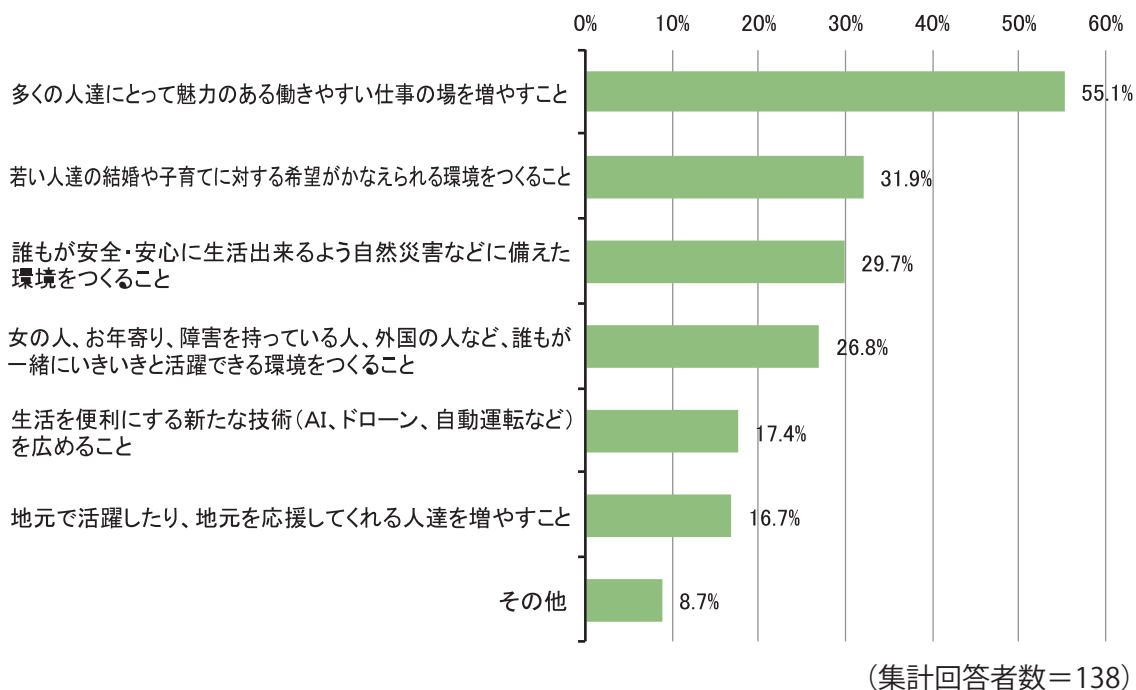
回収数 144件(うち町内の通学者36件、町外からの通学者105件、無回答3件)

## ■結果の概要



## [上三川町が住み続けたい環境となるために積極的に実施すべき取組み]

○“多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事の場を増やすこと”“若い人達の結婚や子育てに対する希望がかなえられる環境をつくること”に関する取組みに期待



#### 4) 各種団体アンケート調査

##### ■調査方法

調査対象 コミュニティ連絡協議会、上三川町PTA連絡協議会、上三川町女性団体連絡協議会、上三川町社会福祉協議会、自治会長連絡協議会、JAうつのみや、上三川町体育協会、上三川町文化協会、上三川町シニアクラブ、上三川町民生児童委員協議会、上三川町商工会（計11団体）

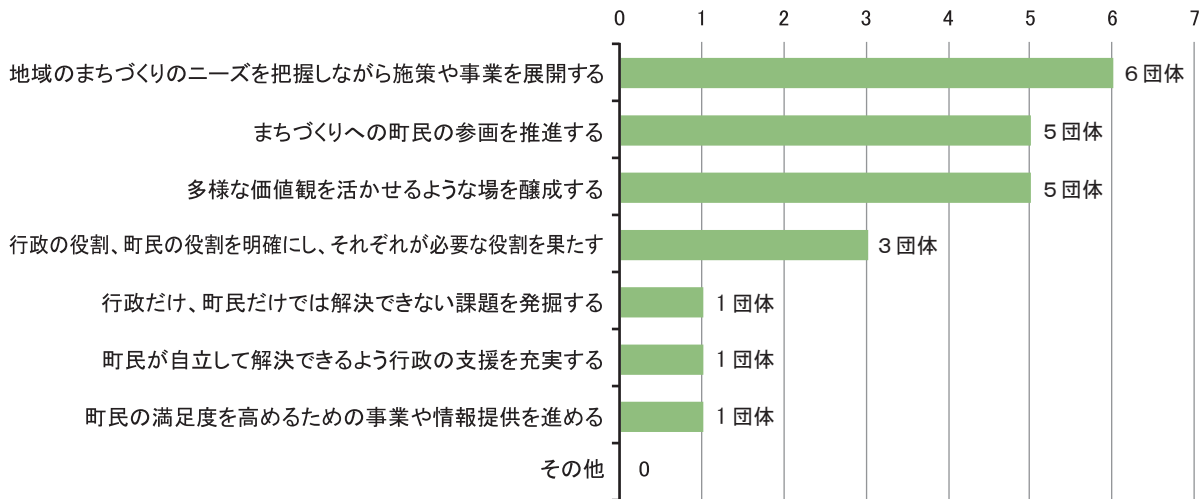
調査方法 アンケートシートの配付・記入依頼により実施

調査時期 令和1年12月

##### ■結果の概要

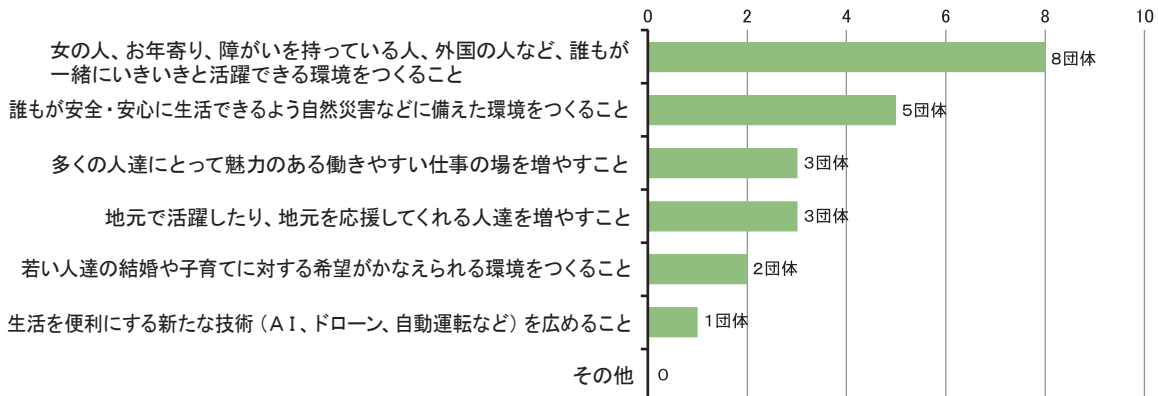
#### [協働でまちづくりを進めていくうえで重要なこと]

○“地域のまちづくりのニーズを把握しながら施策や事業を展開する”ことに期待



#### [上三川町が住み続けたい環境となるために積極的に実施すべき取組み]

○“女の人、お年寄り、障がいを持っている人、外国の人など、誰もが一緒にいきいきと活躍できる環境をつくること”“誰もが安全・安心に生活できるよう自然災害などに備えた環境をつくること”に関する取組みに期待



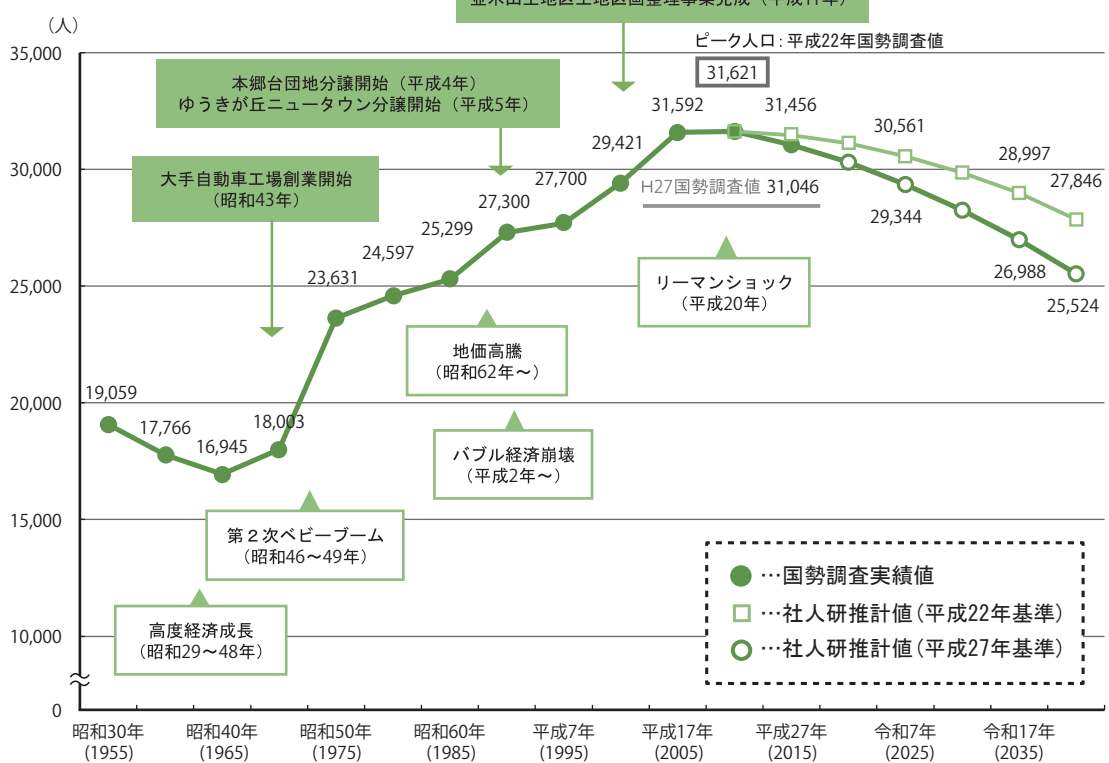
## 4. 「上三川町人口ビジョン(改定版)」の概要

### 1) 人口の現状分析

#### (1) 総人口の推移と将来推計

- 全国的な社会経済情勢（高度経済成長、第2次ベビーブームなど）の変化、本町における大きな環境変化（大手自動車工場の操業、土地区画整理事業の実施による住宅地整備など）を背景に右肩上がりの増加傾向が平成17年まで継続されてきました。
- 平成22(2010)年にピーク値の31,621人に到達して以降は、わずかながら減少傾向に転じています。
- 国立社会保障・人口問題研究所が公表する推計値においては、平成22(2010)年基準によるもの、平成27(2015)年基準によるもの、ともに長期的な減少の傾向を予測しています。
- 平成27(2015)年における実績値(31,046人)を平成22(2010)年基準推計値(31,456人)と比較すると、約400人のマイナスが生じているため、平成27(2015)年基準推計値においては平成22(2010)年基準推計値よりも減少の傾向が早まる予測(2040年時点で約2,300人の差異)となっています。

《総人口の推移と将来推計》

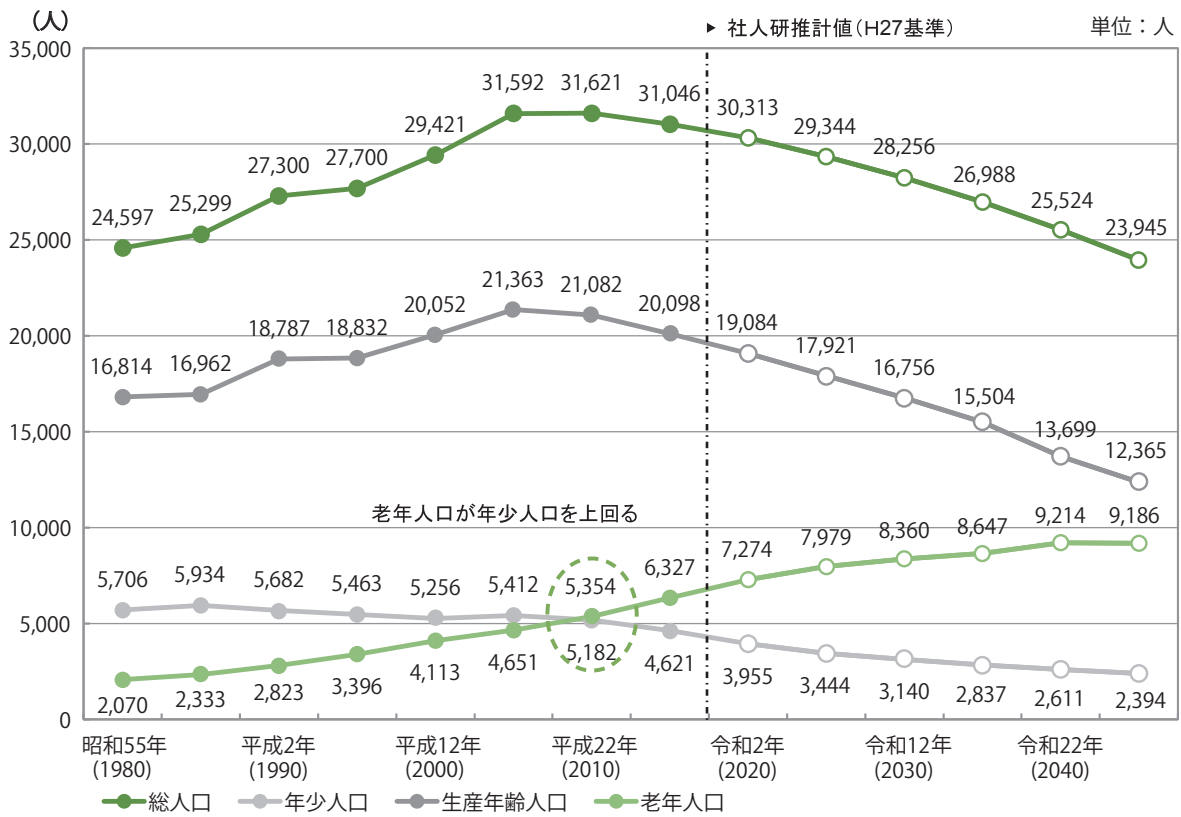


➡人口減少が避けられない見通しのなか、少しでも人口の減少幅を抑制する対策を検討する必要があります。

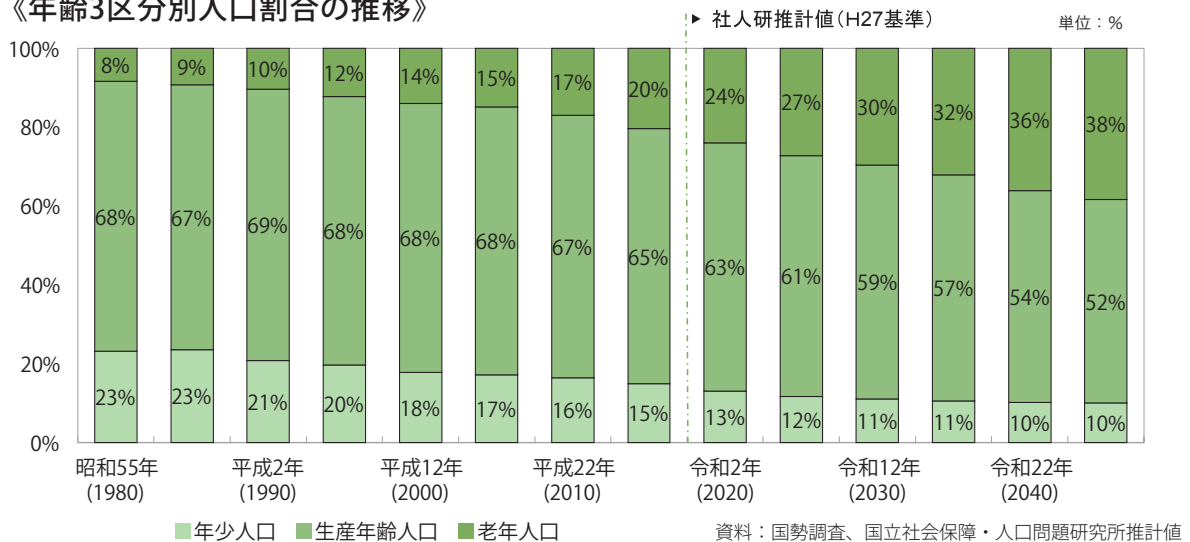
## (2) 年齢3区分別人口の推移と将来推計

- ・生産年齢人口は平成17(2005)年をピークに減少傾向に転じています。
- ・老年人口の増加、年少人口の減少が続き平成22年に老年人口が年少人口を上回りました。
- ・平成27(2015)年の基準値において65歳以上の人口割合は約20%に到達しています。
- ・社人研推計値においては少子・高齢化の進行の動きが継続し、令和27(2045)年における高齢化率は約38%に到達するものと予測しています。

### 《年齢3区分別人口の推移と将来推計》



### 《年齢3区分別人口割合の推移》



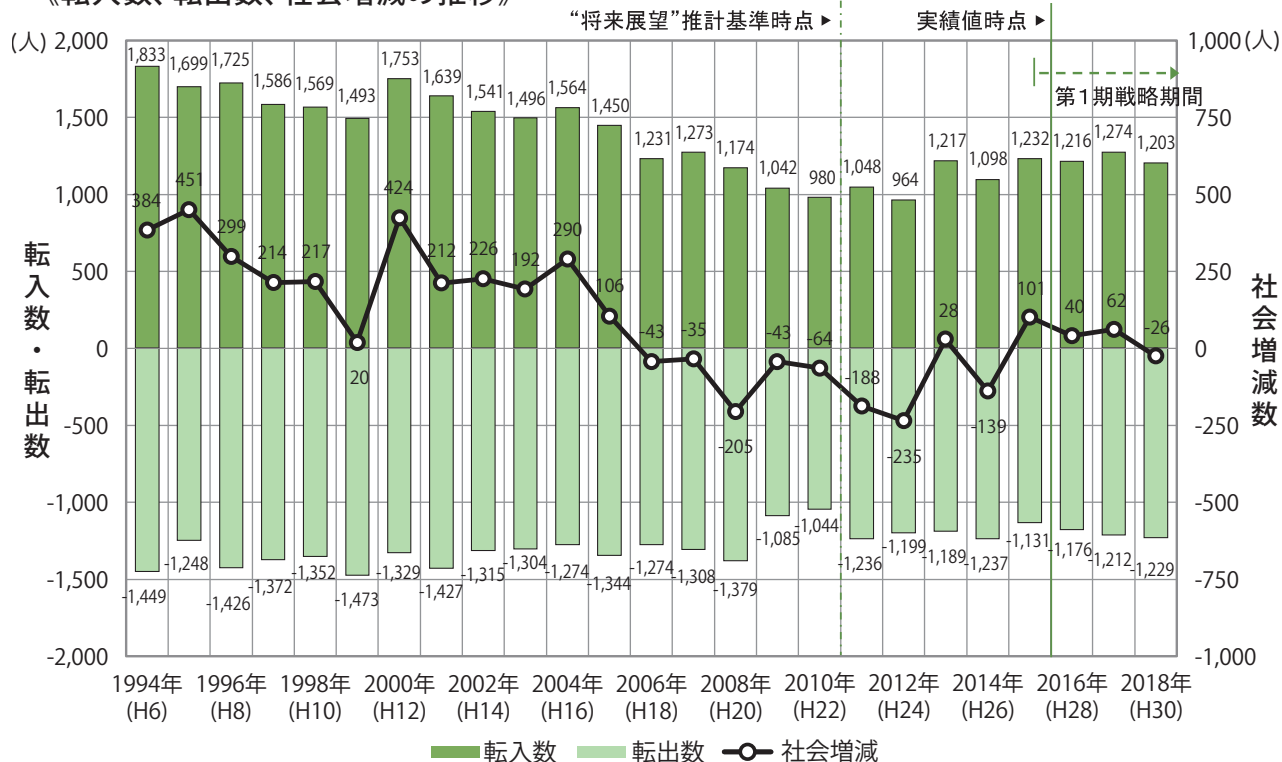
- ➡生産年齢人口の減少抑制に向けた対策を検討する必要があります。
- ➡少子・高齢化の進行の動きに対応する取組みを検討する必要があります。



### (3) 転入・転出数の推移

- ・ 転入数・転出数については、ともに増減を繰り返しつつ緩やかに減少し、近年は1,200人前後で推移しています。
- ・ 社会増減については、平成18(2006)年から平成24(2012)年にかけて社会減の傾向が続いていたものの、近年の平成27(2015)年から平成29(2017)年にかけては社会増で推移しています。

《転入数、転出数、社会増減の推移》



資料：栃木県 住民基本台帳に基づく栃木県の人口及び世帯数

※2013 (H25) 年より外国人を含む。

※2013 (H25) 年以前は年度 (4月1日～3月31日) の値

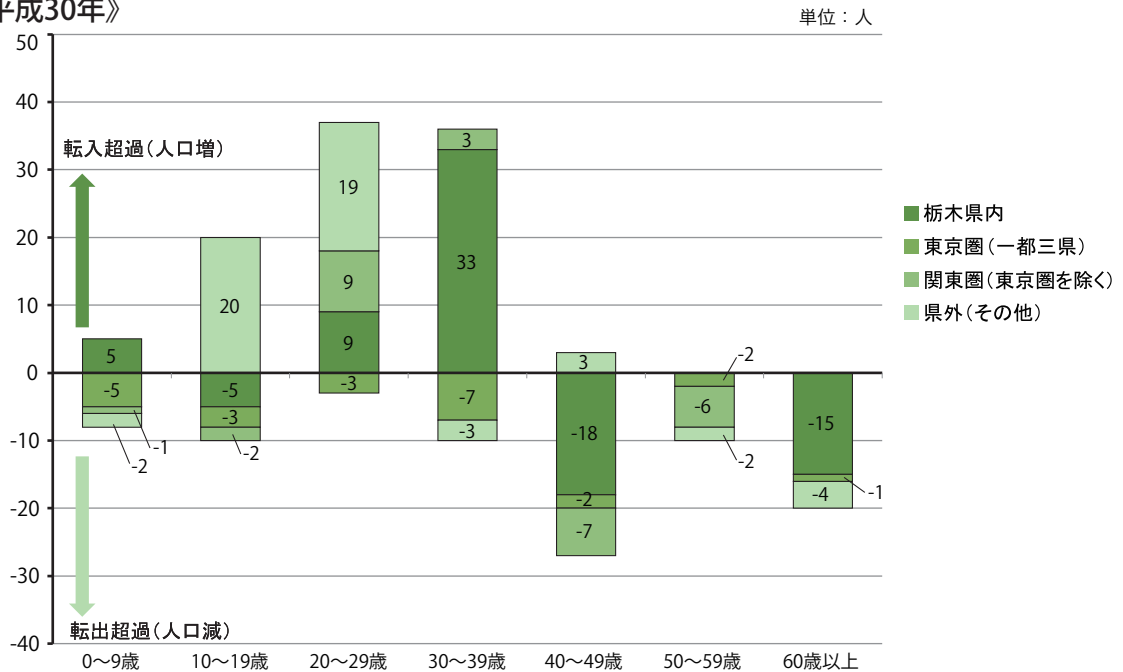
※2014 (H26) 年以後は年 (1月1日～12月31日) の値

➡近年の社会増の状態を維持する対策 (外国人の転入者を含む) を検討する必要があります。

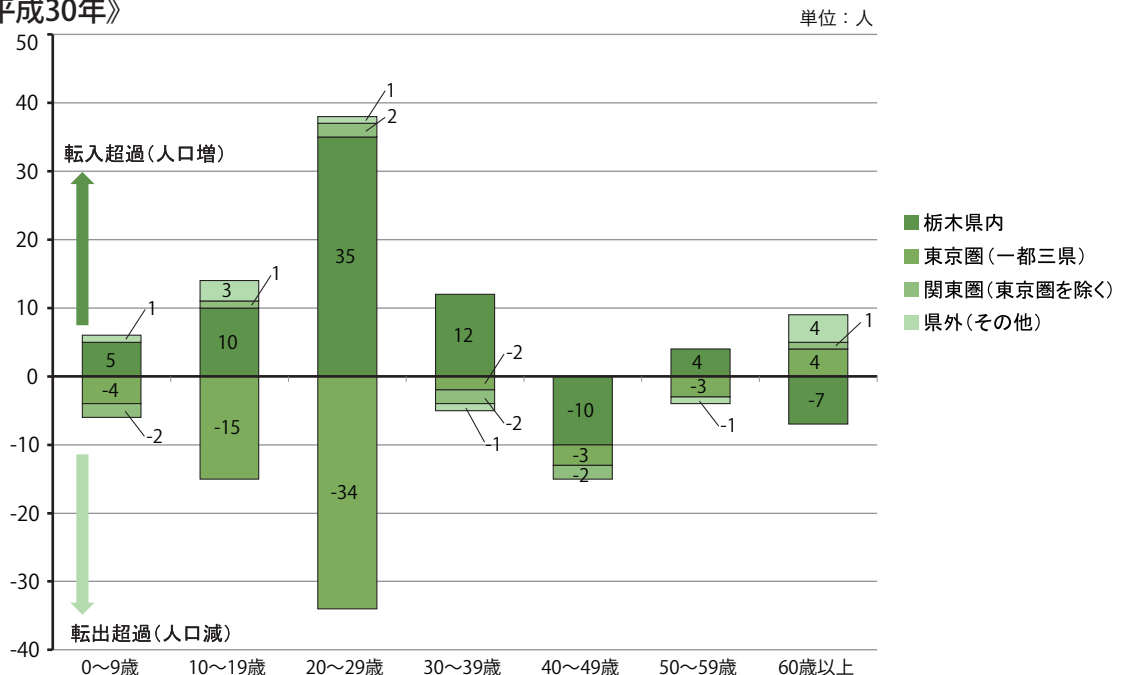
#### (4) 年齢別純移動数の状況

- ・男性は、すべての年代において、東京圏に対するわずかな転出超過となっています。また、10～19歳・20～29歳の若い世代では県外からの転入超過、30～39歳では県内からの転入超過がみられるほか、40歳以降はおおむね転出超過にあり、特に県内への移動が多く見られます。
- ・女性は、10代から30代にかけて県内からの転入超過がみられ、10代から20代にかけて東京圏への転出超過がみられます。

《男性：平成30年》



《女性：平成30年》



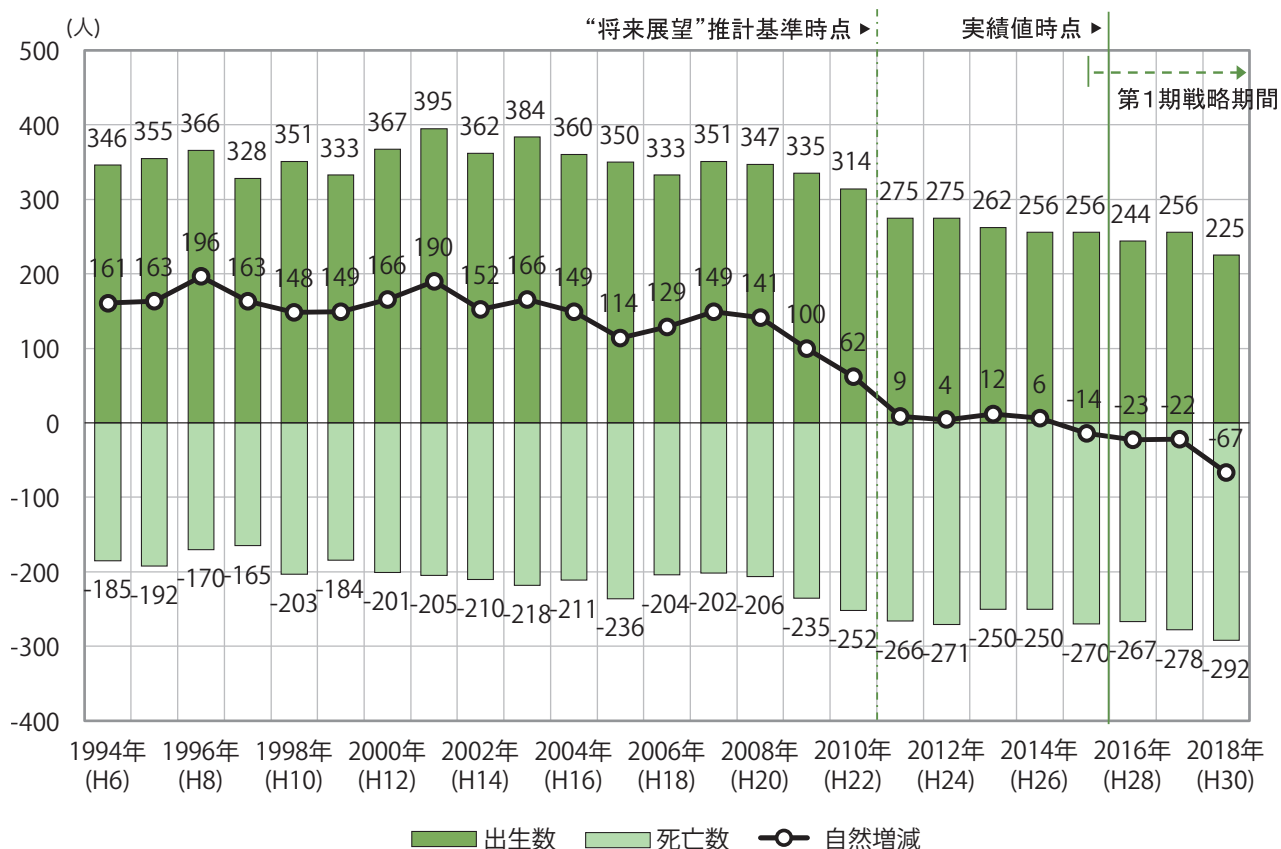
資料：総務省 住民基本台帳人口移動報告 平成30年結果

➡若い世代・ファミリー世帯などの転入促進・転出抑制につながる対策(定住の場・就業の場としての機能強化)を引き続き検討する必要があります。

## (5) 出生・死亡数の推移

- ・出生数については、増減を繰り返しつつ緩やかな減少傾向が続き、近年は240人前後で推移しています。
- ・死亡数については、増減を繰り返しつつ緩やかな増加傾向が続き、近年は280人前後で推移しています。
- ・自然増減については、平成27(2015)年以降に自然減に転じ、近年は20人前後の自然減で推移していますが、平成30(2018)年においてはやや落ち込みが大きくなっています。

### 《出生数、死亡数、自然増減の推移》



資料：栃木県住民基本台帳に基づく栃木県の人口及び世帯数

※2013(H25)年より外国人を含む。

※2013(H25)年以前は年度(4月1日～3月31日)の値

※2014(H26)年以後は年(1月1日～12月31日)の値

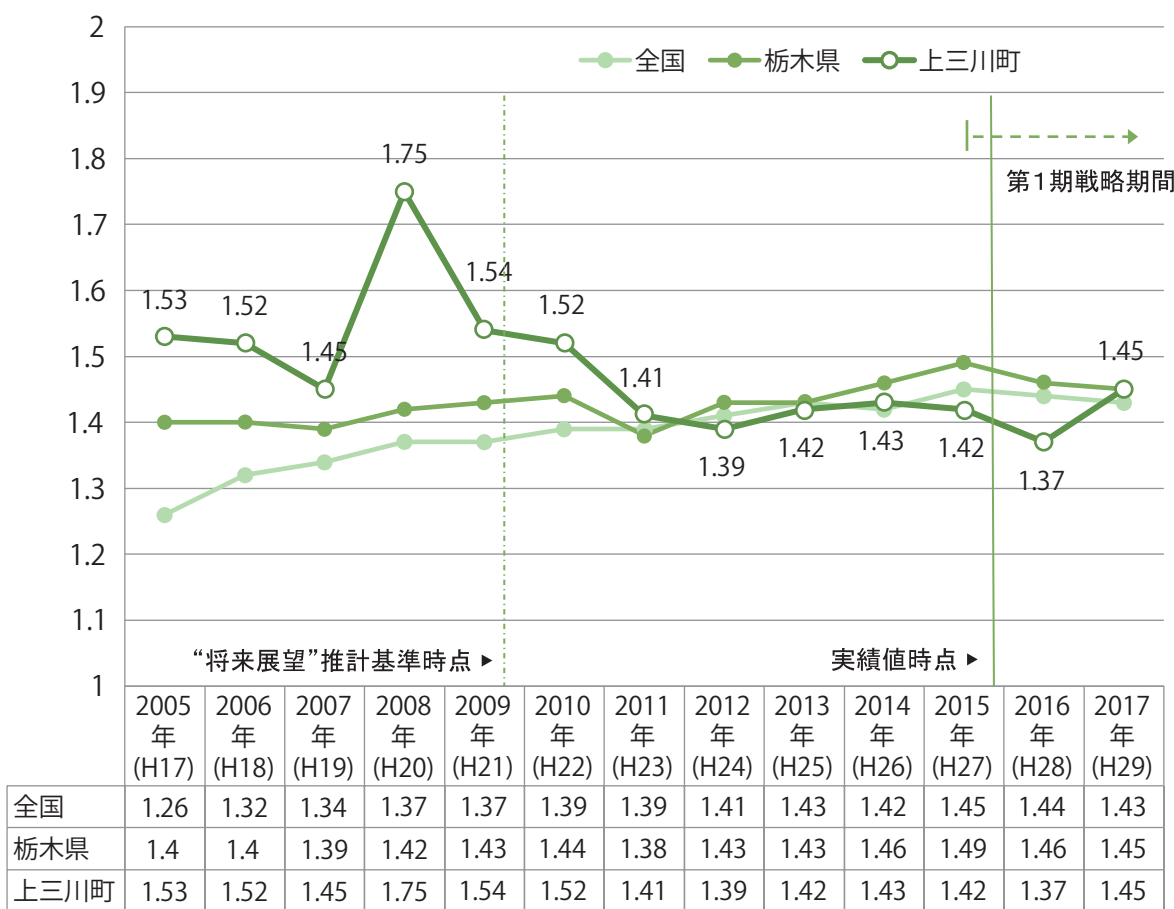
- ➡自然減の拡大を抑制する対策を検討する必要があります。
- ➡出生数の増加や高齢者が健やかに暮らせる環境づくりなどに向けた取組みを検討する必要があります。

## (6) 合計特殊出生率の推移

- ・本町においては平成23(2011)年まで全国・栃木県の値を上回っていたものの、平成24(2012)年以降は反転し、全国・栃木県の値をやや下回る値(1.4前後)で推移しています。
- ・緩やかな減少傾向から近年はやや回復の動きを見せるものの、人口置換水準の2.07には程遠い状況にあります。

※合計特殊出生率…15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生に産む子どもの人数とされる。

《合計特殊出生率の推移》



資料：県人口動態総覧

➡15～49歳の女性総数の減少傾向が見込まれる中、合計特殊出生率の回復を継続する(人口置換水準に向けた)取組みを検討する必要があります。

## 2) 人口の将来展望

### (1) 目指すべき将来の方向

人口の現状分析や将来展望に必要な調査分析等を踏まえ、この先深刻さを増す人口減少や高齢社会の進行に対応していくため、出生率の向上による自然動態の改善や、定住・移住人口の増加による社会動態の改善を基本としつつ、上三川町の今後の取り組みにおける目指すべき将来の方向性を以下のとおり設定します。

#### ■人口動向分析のまとめ(課題の整理)より

- ➡本町では、人口減少や少子・高齢化の動きが避けられない見通しのなか、少しでも人口の減少幅を抑制するため、自然動態に関しては、合計特殊出生率の回復や出生数の確保を促す取り組み、高齢者が健やかに暮らし続けることのできる環境づくりに努める必要があります。
- ➡また、社会動態に関しては、20～29歳の女性の東京圏への転出超過抑制の取組や、若い世代やファミリー世帯などの転入促進・転出抑制につながる定住の場づくり、本町の産業特性や若者の就業ニーズ等を踏まえた雇用の受け皿づくりに努めていく必要があります。



#### ■目指すべき将来の方向

##### ①上三川町に魅力ある雇用の場を創出し、安定した経済的基盤を確保する

- 本町の優れた交通アクセスや立地条件等を活かし、これまで培われてきた事業の承継や新たな技術の導入等に柔軟かつ積極的に対応しながら、本町の経済活力を牽引する農・商・工の振興や、より多くの人たちにとって稼ぐ魅力や働き甲斐のある雇用の場づくりを進めます。

##### ②町内外の若者が「上三川町」とのつながりを深めることで、地元への定着やU I Jターンを促進する

- 本町が有する快適な居住環境や、通勤・通学のしやすい定住の場としてのポテンシャルに磨きをかけながら、町内外の若者をはじめとする本町への移住・定住の動きが活発化し、様々な分野での関わりを持つ人が増えるよう、本町の魅力の積極的なPRや適切な支援を進めます。

##### ③若い世代の結婚、妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、女性や高齢者・障がい者など誰もが活躍できるまちづくりを実現する

- 本町の若い世代が希望を持って結婚、出産・子育てができるよう、子育てに奮闘する世代の負担を少しでも軽くする支援策や、本町の未来を担う人材育成に向けた教育環境を充実するとともに、女性をはじめ多様な人材がそれぞれ役割を持って活躍できる環境づくりを進めます。

##### ④未来技術の積極的な活用などにより、地域課題を解決し、安心して暮らせるまちづくりを推進する

- 人口減少や少子・高齢化の進行の動きに対応するため、都市の持続可能性や新しい時代に即した社会環境づくりが求められるなか、本町においても、様々な活動を支える未来技術の実用化の検討や、国土強靱化の視点を取り入れた防災体制の強化を図るなど、誰もが住み慣れた環境で安心して暮らし続けることのできる多様な地域の形成を進めます。

## (2) 人口の将来展望

目指すべき将来の方向性に基づく各種施策の積極的な取組みにより、出生率の改善や転入増加・転出抑制を図り、令和42(2060)年の長期的目標を約24,000人と設定するものとします。

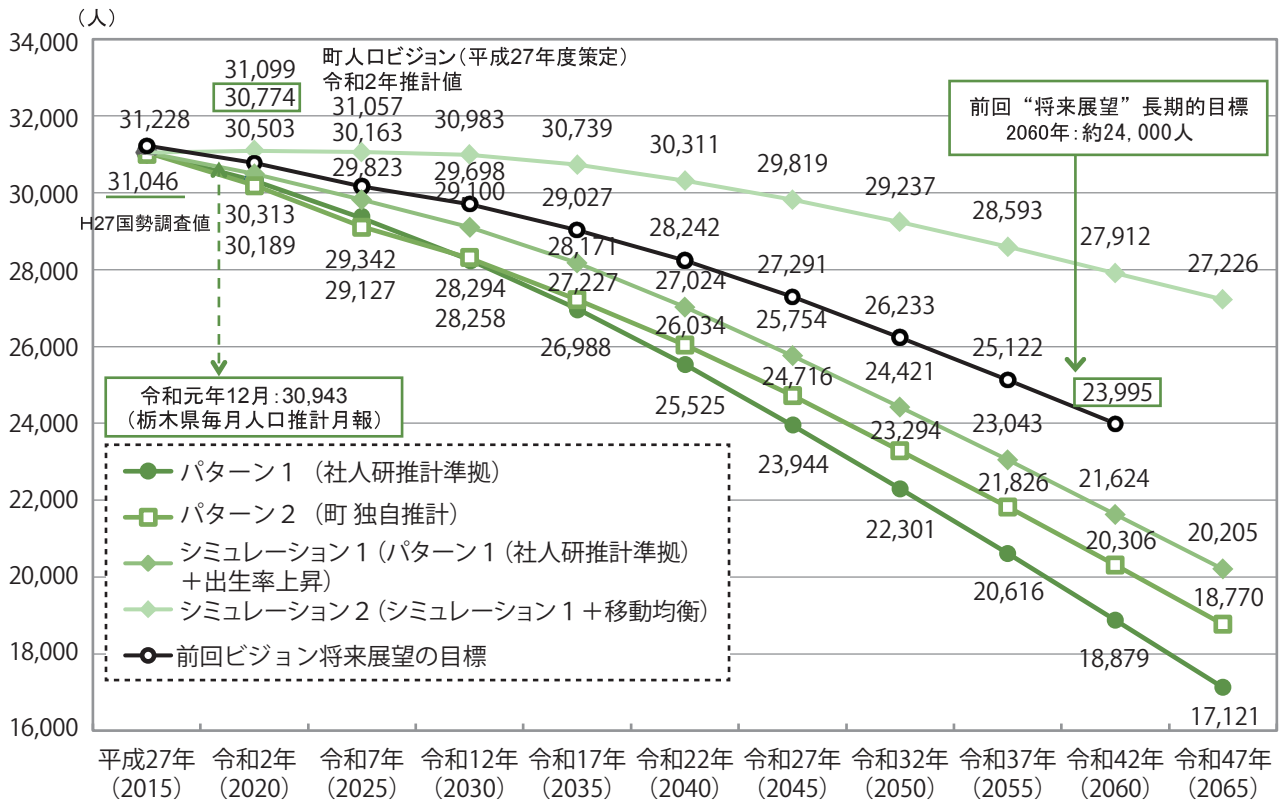
◎前回ビジョン“将来展望”における長期的目標(社人研推計値を上回る値)を踏襲

①中期的目標：第7次総合計画の目標年次  
【令和7(2025)年】 約30,500人

②長期的目標  
【令和42(2060)年】 約24,000人

…国・県の令和42(2060)年までの中長期的な人口見通しの方向性は維持される見込みであり、本町においても、第7次総合計画の計画人口との整合に配慮し、積極的な施策実施の効果を見込んだ、前回ビジョンの目標値を継承するものとします。《合計特殊出生率が平成24(2012)年の1.39から令和22(2040)年に人口置換水準2.07にまで向上、転出・転入傾向は維持と設定》

《将来人口推計(各推計値)と前回ビジョン“将来展望”との比較》





## 5.成果指標一覧

### ■上三川町第7次総合計画〔後期基本計画〕

基本目標	施策項目	指標名	単位	基準値 (直近の実績値)	目標値 (R7年度)	
基本目標1 “安心安全・定住”の まちづくり	① 消防・防災体制の充実	消防団員充足率	%	R2年度 95.2	100.0	
		災害時における民間企業との連携体制の確保数(災害協定等の締結)	件	R1年度 2	各年度2	
		災害時の避難場所を知っている町民の割合	%	R1年度 73.2	90.0	
		自主防災組織数	組織	R1年度 23	45	
		武名瀬川第三排水区雨水幹線整備の延長(調整池から吐口まで)	m	R1年度 0	1,023	
	② 交通安全・防犯体制の充実	交通安全教室の開催回数	回	R1年度 17	30	
		防犯教室の開催回数	回	R1年度 21	30	
	③ 調和のとれた土地利用の推進	地籍調査進捗率	%	R1年度 23.0	27.0	
	④ 市街地の整備	富士山地区市街地整備事業整備率	%	R1年度 85.7	100.0	
		石橋駅東通り整備事業整備率	%	R2年度 39.7	58.5	
		公園通り整備事業整備率	%	R1年度 75.9	100.0	
	⑤ 住宅施策の充実	住宅の耐震化率	%	R1年度 90.6	95.0	
		耐震普及ローラー作戦実施件数(累計)	件	H27~R1年度 131	300	
		定住促進住宅取得支援助成件数(累計)	件	R1年度 14	R5年度まで 120	
		空き家バンク登録件数(累計)	件	R1年度 0	10	
		空き家バンクの登録所有者と利用希望者のマッチング数(累計)	件	R1年度 0	10	
	⑥ 上・下水道の整備	上水道有収率	%	R1年度 74.3	86.0	
		上水道普及率	%	R1年度 89.6	92.0	
		認可区域内汚水整備率	%	R1年度 89.0	93.0	
		公共下水道水洗化率	%	R1年度 87.1	89.1	
		汚水処理人口普及率	%	R1年度 97.5	98.4	
		農業集落排水水洗化率	%	R1年度 76.4	77.2	
		浄化槽設置費補助率	%	R1年度 31.2	37.5	
		基本目標2 “子ども・健康・福祉”の まちづくり	① 子育て支援の充実	妊娠出産について満足している者の割合	%	R1年度 93.2
	乳幼児健診受診率			%	R1年度 97.8	100.0
	子育て支援センター利用者数			人	R1年度 12,072	12,500
	保育所等待機児童数			人	R2年度 16	0
	子ども家庭総合支援拠点			-	R2年度 -	設置済み
② 学校教育の充実	栄養教諭による訪問指導		回	R1年度 154	170	
	1校当たりの学校運営協議会の開催回数		回	R1年度 5	5	
	P T Aの施設清掃活動などの実施回数		回	R1年度 10	20	
	I C T機器の整備状況(タブレット端末等)		%	R1年度 18.0	100.0	
③ 社会福祉体制の充実	個人ボランティア登録者数		人	R1年度 167	200	
	サマースクールの参加者数		人	R1年度 61	70	
	災害時要援護者届出者数		人	R1年度 259	280	
	後見人報酬助成制度利用者数		人	R1年度 0	2	
	徴収率(国民健康保険)		%	R1年度 92.8	95.0	
	レセプト点検効果率		%	H30年度 0.91	1.0	
	後発医薬品の使用割合		%	R1年度 79.5	80.0	

基本目標	施策項目	指標名	単位	基準値 (直近の実績値)	目標値 (R7年度)	
	④ 高齢者支援の充実	介護予防教室の延べ参加人数	人	R1年度 1,315	1,500	
		介護保険の要支援・要介護認定者を除く高齢者の割合	%	R1年度 83.0	83.0	
		生活支援サービスの種類	種類	R1年度 5	6	
		生きがいサロンの参加延べ人数	人	R1年度 3,313	3,500	
		シルバー大学校入学者数	人	R1年度 6	10	
		上三川町シニアクラブ会員数	人	R1年度 1,444	1,550	
		1年間に町の講座や教室を利用した町民の割合	%	R1年度 12.4	15.0	
		シルバー人材センターの会員数	人	R1年度 180	200	
		シルバー人材センターの延べ就業人数	人	R1年度 22,029	25,000	
		介護保険料の徴収率	%	R1年度 98.4	99.0	
		介護認定審査会の開催回数	回	R1年度 60	60	
		⑤ 障がい者支援の充実	地域自立支援協議会及び下部組織の開催回数	回	R1年度 18	22
	障がい者優先調達額		円	R1年度 673,570	1,000,000	
	ふれあいの家ひまわりの延べ利用件数		件	R1年度 14,675	15,000	
	農福連携提携農家数		件	R1年度 4	8	
	コミュニケーション支援事業の延べ利用件数		件	R1年度 175	200	
	県民スポーツ大会参加者数		人	R1年度 3	5	
	⑥ 健康づくり・医療体制の充実		健康づくり推進協議会の開催回数	回	R1年度 1	2
		健康マイレージ事業の参加者数	人	R1年度 552	600	
		健康増進のための取組みをしている町民の割合	%	R1年度 55.4	65.0	
		食育フェスタの実施回数	回	R1年度 1	1	
		特定健康診査受診率	%	R1年度 47.2	60.0	
		特定保健指導実施率	%	R1年度 37.3	60.0	
		ゲートキーパー育成数(累計)	人	R1年度 246	350	
		かかりつけ医がいる町民の割合	%	R1年度 74.5	80.0	
	基本目標3 “産業・しごと・活力”の まちづくり	① 農業の振興	認定農業者数	経営体	R1年度 192	190
			新規就農者数	人	R1年度 5	5
			土地利用型作物の作付面積 (二条大麦・新規需要米等)	ha	R1年度 572	600
			宇都宮農業協同組合上三川野菜集荷場による 青果物販売数量	t	R1年度 4,602	4,700
			上三川町内家畜飼養頭数(牛)	頭	R1年度 1,420	1,500
			上三川町内家畜飼養頭数(豚)	頭	R1年度 5,305	5,400
			「いきいきプラザ農産物直売所」の売上額	千円	R1年度 17,751	21,500
			有機栽培米の作付面積	ha	R1年度 20.8	25.0
学校給食における購入野菜等の 町内産比率(重量ベース)			%	R1年度 38.6	40.0	
② 商業の振興			町制度融資利用件数	件	R1年度 13	20
			町内事業所数	事業所	H28年度 259	280
			町内従業者数	人	H28年度 2,690	3,000
		町内年間販売額	百万円	H28年度 95,620	100,000	
		町内の商店(大型店以外)で買物をしている町民の割合	%	R1年度 40.7	45.0	
③ 工業の振興		町内事業所数(従業者4人以上の事業所)	事業所	R1年度 57	70	
		町内従業者数	人	R1年度 7,647	8,500	

基本目標	施策項目	指標名	単位	基準値 (直近の実績値)	目標値 (R7年度)	
		町内製造品出荷額等	百万円	R1年度 404,003	440,000	
		町制度融資利用件数	件	R1年度 13	20	
		経営体質の強化に向けた研修会の開催回数(累計)	回	R1年度 0	5	
		創業セミナーの開催回数(累計)	回	R1年度 1	5	
	④ 消費者対策の充実	消費生活センター出前講座参加者数	人	R1年度 281	350	
		消費者団体登録者数	人	R1年度 27	30	
基本目標4 “交通・交流・連携”の まちづくり	① 道路・交通網の整備	町道改良率	%	R1年度 72.3	73.3	
		道路愛護活動団体数	団体	R2年度 56	61	
		一日一台当たりのデマンド交通利用者数	人	R1年度 20.9	27.5	
	② 国際化、地域間交流の推進	中学生の海外派遣事業参加者数	人	R1年度 22	22	
		③ 観光・レクリエーションの振興	観光入込客数	人	R1年度 83,000	105,000
	サンフラワー祭り来場者数		人	R1年度 22,000	25,000	
	夕顔サマーフェスティバル来場者数		人	R1年度 21,000	25,000	
	かみのかわ町おこし夏祭り来場者数		人	R1年度 18,000	20,000	
	ふれあい朝市来場者数		人	R1年度 2,300	2,500	
			「かみたん」のイベント出演数	回	R1年度 22	25
基本目標5 “人・文化・スポーツ”の まちづくり	① 生涯学習の充実	公民館主催講座の受講及びイベントで来館した町民等の延べ人数	人	R1年度 7,469	9,000	
		P T A指導者養成講座等派遣者数	人	R1年度 19	25	
		町内学校図書館における一人当たりの利用冊数	冊	R1年度 33	36	
		図書館貸出資料数	冊	R1年度 142,567	149,000	
		レファレンス受付件数	件	R1年度 1,687	2,000	
		図書館来館者数	人	R1年度 69,576	73,000	
	② 青少年の健全育成	親学習出前講座の開催回数	回	R1年度 6	7	
	③ 芸術・文化の振興	児童・生徒文化体験子ども教室の開催回数	回	R1年度 10	12	
		文化協会出前事業の開催回数	回	R1年度 10	12	
		文化祭来場者数	人	H30年度 3,479	3,600	
		文化財の保護に関する啓発イベント件数	件	R1年度 6	8	
	④ スポーツの振興	週1回以上の運動をしている町民の割合	%	R1年度 25.7	30.0	
		総合型地域スポーツクラブ「かみスポクラブ」会員数	人	R1年度 175	250	
		スポーツ・レクリエーション祭参加者数	人	H30年度 1,467(縮小開催)	4,000	
		マラソン大会参加者数	人	R1年度 1,154	1,500	
		スポーツ推進委員人数	人	R1年度 13	18	
		スポーツ施設の利用者数	人	R1年度 96,260	150,000	
		フェンシング教室の参加者数	人	R1年度 229	300	
	基本目標6 “自然・環境”のまちづくり	① 公園・緑地・水辺空間の整備	町民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup>	R1年度 13.4	13.9
			上三川町公園愛護会の団体数	団体	R1年度 14	16
② 環境衛生の充実		一人一日当たりの家庭ごみ排出量	g	R1年度 567	550	
		上三川霊園墓地区画数(合葬式墓地を除く)	区画	R1年度 617	805	
③ 環境・景観の保全と創造		ごみゼロ運動・花いっぱい運動参加団体数	団体	R1年度 142	145	
基本目標7 “コミュニティ・地域力”の まちづくり	① コミュニティ活動の推進	コミュニティ推進協議会数	協議会	R1年度 6	7	
		自治会への加入率	%	R1年度 71.8	75.0	

基本目標	施策項目	指標名	単位	基準値 (直近の実績値)	目標値 (R7年度)
		自治会加入世帯数	世帯	R1年度 8,469	8,600
	② 男女共同参画社会の 形成	審議会等への女性委員の登用率	%	R1年度 31.7	35.0
	③ 人権尊重社会の実現	人権カレッジ延べ参加者数	人	R1年度 403	480
基本目標8 “協働・健全財政”の まちづくり	① 町民と行政との協働 体制の確立	かみたんメール登録者数	人	R1年度 5,298	5,800
		ホームページアクセス数	回	R1年度 234,083	250,000
		地域出前講座の参加人数	人	R1年度 250	350
		防災上重要な町有建築物の耐震化率	%	R1年度 88.6	100.0
	② 情報ネットワークの推 進	eラーニングによる情報セキュリティ研修の 受講率	%	R1年度 79.4	100.0
	③ 持続可能な自治体経 営の確立	RPAを導入した業務の数(累計)	業務	R2年度 -	20

### ■上三川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標	成果目標(基本目標)・KPI(作戦)	単位	基準値 (直近の実績値)	目標値 (R7年度)
1 安心して働き、稼げる“かみのかわ”の実現	1人当たりの町民所得	千円	H28年度 3,811	R5年度 4,000
	事業所従業者数	人	H28年度 17,057	R6年度 17,500
<b>基本的方向(1) 農・商・工業の活性化の推進</b>				
作戦① 地元農業活性化プロジェクト	町内農産物直売所の年間販売額(3箇所)	千円	H30年度 33,700	50,000
	担い手への農地集積率	%	H30年度 50.0	60.0
作戦② 地元産業活性化プロジェクト	企業間交流会の実施(累計)	回	H30年度 1	6
	制度融資利用件数	件	H30年度 14	20
<b>基本的方向(2) 雇用機会創出の推進</b>				
作戦③ 就業・起業化等の支援	創業支援等事業参加者数(累計)	人	H30年度 20	100
	インター南産業団地企業立地面積	ha	H30年度 -	R5年度 6.2
作戦④ 多様な人材が活躍できる環境づくり	障がい者の工賃(時給換算)	円	H30年度 273	301
	企業への意識啓発件数(累計)	件	H30年度 -	12
2 魅力ある“かみのかわ”への新しい流れの創出	社会増減数	人	H30年度 -5	0(維持)
	東京圏からの転入者数	人	H30年度 190	230
<b>基本的方向(1) 移住・定住支援の充実</b>				
作戦⑤ 移住・定住支援事業	空き家バンクへの登録件数	件	H30年度 0	10
	定住促進住宅取得支援金助成件数(累計)	件	H30年度 14	R5年度まで 120
作戦⑥ 住みやすい環境や支援の充実	デマンド交通乗車人数	人	H30年度 14,956	18,000
	20~30歳代社会増減数	人	H30年度 71 (男性25/女性46)	70(維持)
<b>基本的方向(2) 町の魅力アップの推進</b>				
作戦⑦ 上三川町住んでよいとこPR	東京圏における上三川町の認知度	%	H30年度 17.3	20.0
	移住・定住ページのアクセス数	件	H30年度 -	2,500
作戦⑧ 上三川町来て・知ってよいとこPR	観光客入込数	人	H30年度 85,280	105,000
	ふるさと納税寄附件数	件	H30年度 596	710
3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び教育環境の充実	婚姻届出数	件	H30年度 130	130(維持)
	合計特殊出生率	-	H29年度 1.45	1.51
<b>基本的方向(1) 出会いから結婚・出産・子育て支援の推進</b>				
作戦⑨ 結婚応援プログラム	出張登録会参加人数	人	H30年度 -	10
作戦⑩ 妊娠・出産応援プログラム	出生児数	人	H30年度 229	240

基本目標	成果指標（基本目標）・KPI（作戦）	単位	基準値 (直近の実績値)	目標値 (R7年度)
作戦⑪ 子育て支援の充実	保育所待機児童数	人	R1.10.1現在 14	0
	子育て支援センター利用者数	人	H30年度 12,196	12,500
<b>基本的方向(2) 人間力を豊かにする教育の推進</b>				
作戦⑫ 特色ある教育活動の推進	読書に親しむ児童生徒の割合	%	R1年度 75.0	80.0
	中学校卒業までに英検3級程度以上を取得した生徒の割合	%	H30年度 32.0	40.0
作戦⑬ 学校を核とした地域づくりの推進	地域の行事に進んで参加する子どもの割合	%	R1年度 81.0	85.0
4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり	まちの安心・安全に関する満足度	—	R1年度 0.79	1.00以上
	障がい者福祉に対する町民満足度	—	R1年度 0.88	1.00以上
<b>基本的方向(1) 安心安全を地域で守る体制の充実</b>				
作戦⑭ 地域で守る防災対策事業	消防団員数	人	H30年度 250	250 (定数確保)
	自主防災組織数	箇所	H30年度 23	40
作戦⑮ 安心・安全推進プロジェクト	交通安全対策の状況に関する町民の満足度	%	R1年度 22.2	40.0
<b>基本的方向(2) 誰もがいきいき生活できる支援の充実</b>				
作戦⑯ いきいき生活推進事業	地域の居場所への参加延べ人数(生きがいサロンなど)	人	H30年度 10,014	11,000
	学習支援ボランティア人数	人	H30年度 19	25
作戦⑰ 運動・健康づくり支援事業	健康マイレージ参加者数	人	H30年度 560	590
	週1回以上の運動をしている町民の割合	%	R1年度 25.7	35.0

